発がんプロモーションに関する試験が行われた経緯の概要

第1~4回WG

第5回WG

試験A

【舌】(野生型、遺伝子改変) イニエーション期+プロモーション期

- ・イニシェーターと同時に DAG油を投与している等、 プロトコールに問題点があ
- ・遺伝子改変ラット及び野生 型ラットについて、個体数 を増やし、さらなる高用量、 長期間投与での追加試験 (試験 E 及び試験 F)が必要 とされた。

試験E

【舌】 (野生型)

試験F-1

【舌】 (野生型、遺伝子改変) プロモーション期のみ

試験F-2

【舌】(野生型、遺伝子改変) イニエーション期+プロモーション期

試験G

【舌、乳腺】 (野生型、遺伝子改変) 1群あたり個体数が8~9例と少ない。

試験B

試験C

【大腸】(野生型、遺伝子改変) 試験 D-1

試験D-2

【皮膚】(野生型)

試験D-3

【皮膚】(野生型)

【舌、大腸等】 (野生型)